



ワンセグでもアナログテレビ放送終了を告知

TBS テレビは、7月24日に迫った地上デジタル放送への完全移行に向け、7月1日から、地上デジタル放送のサービスの1つであるワンセグを活用したアナログ終了告知を始めました。

2006年4月に「いつでも安心／安全／便利のどこでもテレビ」を合言葉に始まったワンセグは、鮮明な画像とクリアな音声の地上波放送番組を無料で視聴できるうえ、データ放送や通信連携型の便利な視聴者サービスも実施しており、2011年1月には、受信対応の携帯電話累計出荷台数も1億台を突破致しました。(※1)

また、地デジの電波の一部を用いて行うサービスのため、何百万を超える視聴者にも同時に映像を届けられるだけでなく、バッテリー駆動の強みを生かし、停電時でもテレビ視聴が可能です。東日本大震災においても、停電や通信の輻輳により全く情報が得られない状況下において、リアルタイムに情報取得が可能であったメディアです。

TBS テレビでは、視聴者の身近にあるこのワンセグのデータ放送機能を活用し、アナログテレビ放送の終了とデジタルへの移行を呼びかけ、視聴者への注意喚起を図るほか、お問合せに関しては、総務省 地デジコールセンターの番号を案内します。7月24日にアナログ放送が終了し、アナログテレビでの告知ができなくなった後も、8月26日までワンセグを通じて視聴者に直接、告知を続けることにしています。

※1: (社)電子情報技術産業協会(JEITA) 調べ

(参考)

TBS ワンセグデータ放送 地デジ化推進告知画面



7月24日まで



7月25日以降

以上